

『桜濃く』（昭和二四）所収。「下京西木屋町時代、昭和二十二年」作。「牛尾三千夫氏突然来訪」と前書あり。冷蔵しつつ運ぶ宅配便などないこの時期、氷で冷やしながら提げてきた走りの鮎は、たいへん貴重なものだったろう。早速、塩焼にして楽しむ。鮎は川によって、その香りを異にするという。友の鮎自慢、川自慢を聞きながら、しみじみと「友よしや」の思いを噛みしめる。作者は、山本健吉と結婚、波郷門。【早鮎・夏】

友よしや石見の早鮎もたらして

石橋秀野の

早鮎

澤 7月号 目次

澤俳句鑑賞 254

小島ゆかり……………18

石田秀子……………20

窓

俳書を読む

大石悦子『百轉』／中西夕紀『くれなる』／橋本 直『付

録』／杉浦圭祐『異地』／篠崎央子『火の貌』

加納 燕……………22

高橋睦郎 季語練習帖 第一三九回……………10

詩文学芸書を読む

スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ（松本妙子訳）

『完全版 チェルノブイリの祈り——未来の物語』

根岸哲也……………24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」五月号／「俳壇」五月号 柳元佑太……………26

俳句結社誌を読む

「となりあふ」 大木由美子……………28

澤通信句会のお知らせ……………4

小澤 實 明日は来る 十五句……………8

高橋睦郎 季語練習帖 第一三九回……………10

潺潺集 小澤 實選……………12

火 石橋志野 さなぎへ鯉 小川正廣

古巣 野崎海芋 団結旗 東徳門百合子

ひゞき 高橋和志 中野文夫 結城あき

先妻と先々妻 川上弘美 たて抱き たが啓子

ワクチン 高橋美穂子 眼光の海 吉田邦幸

白雄 石田秀子 雨後の牡丹 高野美智子

あと先に 湯浅萬里子 鴨涼し 大塚ふみ

缶バッジ 野澤 雄 衛生車 戸田いぬめぐり

華鬘鈴 栗生

通信句会の秀句 村越 敦……………30

潺湲集巻頭作家インタビュー 新澤 岳……………32

澤集巻頭作家エッセイ 柳元佑太……………33

俳句を豊かにするもの

入会半年経過のご報告と抱負 光本蕃茄……………34

付句を通して 今朝……………35

同人代表句 寺島 麦／村戸弥生……………36

同人一句鑑賞 野崎海芋／オオタケシゲヲ……………37

澤齋……………38

澤四十句 小澤 實選……………40

選後独言 俳句はことば、ことばは音 小澤 實……………42

澤集 小澤 實選……………44

内堀いつぼ／市川たか子／花岡安佐枝／矢嶋俊缶／仲白
良／山口土器／中山雅弘／吉成沢子／蔵田かをり／田中正
俊／吉村たまみ／清水ましろ／大室ゆらぎ

新入会員……………78

消息／正誤表……………79

6月号発送報告／定例句会ご案内……………80

澤俳句叢書一覧……………81

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………82

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………83

澤句会・カルチャー一覧……………84

広告……………85

後記……………90

デザイン||玉井一平

澤
令和3年7月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円

表紙／小澤
實著『秀句三五〇選友』より